

発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 11 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 池 本 俊 英

次のとおり通告します。

発言順位	3	受領日時	9 月 11 日	午前・午後	9 時 45 分	3 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式			・ 一括方式	発言時間	約 50 分
答弁を求める者	・市長・教育長・選挙管理委員会委員長・公平委員会委員長 ・農業委員会会長・監査委員・公営企業管理者					

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	訪問介護事業について	(1) 介護報酬改定の影響と現状把握について ① 介護報酬改定による基本報酬の引下げが、市内の訪問介護事業者の経営状況や市民へのサービス提供体制にどのような影響を与えているか。 ② 本市として、このような現状をどのような方法で把握しているのか。事業者へのヒアリングやアンケート調査など、そのプロセスを詳しく問う。 (2) 訪問介護員の人材不足について ① 本市のホームヘルパーの人材不足の現状をどのように認識しているのか。 また、このまま推移した場合、将来的にどのような事態が予測されるのか見解を問う。 ② 人材の確保と定着を促進するために、市としてどのような対策に取り組む考えがあるか、具体的な施策について問う。 (3) 地域の訪問介護サービスの供給体制を維持していくため、厳しい経営環境にある訪問介護事業者を支える市独自の財政的支援や事業継続のための補助金制度などを創設することについて (4) 多くの高齢者が在宅で過ごし続けられるよう、多様化する高齢者福祉サービスのニーズに応じて訪問介護サービスの質を向上させ、時代の変化に対応していくために、今後どのような取組を進めていくのか。
2	部活動の地域移行について	(1) 中学校部活動の地域移行における周知と説明は、関係者に対し、どのように行ってきたのか。 また、今後の取組について併せて問う。 (2) これまで地域の実情や市民の懸念、課題を把握するために、どのような調査やヒアリングを行ってきたのか、具体的に問う。

No	件 名	発 言 の 要 旨
		(3) 地域移行における指導者の質と量の確保及び指導方針について
		①質の高い指導者を安定的に確保するために、人材バンクの充実や指導者育成の仕組みをどのように構築していくのか。
		②部活動指導に意欲とやりがいを感じている教員が、兼職兼業の許可を得て、地域クラブ活動の指導者として活躍できる仕組みをどのように整えていくのか。
		③平日の放課後における指導者の確保をどのように進め、休日との指導方針のずれをどのように解消していくのか。
		(4) 地域クラブ活動の活動場所の確保と調整について
		①地域クラブ活動の活動場所として、学校施設はどのように活用されるのか。
		また、学校施設が利用できない場合の代替場所はどのように確保していくのか。
		②楽器や大型備品、ミーティングスペースなど、活動に必要な附帯設備の確保や調整をどのように行っていくのか。
		③地域クラブ活動団体が、公共施設を円滑に利用できるような仕組みや支援について、どのような方針を立てているのか。
		(5) 本市において、地域をいくつかのブロックに分け、複数の校区で合同の地域クラブ活動を実施することについて、どのように考えているのか。
		また、その際、生徒の移動手段の確保や保護者の負担軽減について、具体的にどのような対策を検討しているのか。
		(6) 地域クラブ活動への財政支援と保護者負担について
		①地域クラブ活動への財政支援について、どのような方針を持っているのか。
		②保護者が負担する会費等の目安を問う。
		また、家庭の経済格差が生徒の体験格差につながらないよう、具体的な支援策をどのように考えているのか。
		(7) 新たな地域クラブ活動を推進するに当たり、本市はどのような団体や人物が実施主体・運営団体となることを想定しているのか。
		また、運営団体が活動を円滑に行えるよう、どのような支援策を講じていくのか。
		(8) 部活動の地域移行における調整役と、コーディネーターの必要性

